

債銀増額季末  
債銀低下季末  
債銀算定支払  
債銀計算支払  
解雇申請要求  
債銀 不詳

一九三九年(全体的に三割)  
一九三八年(全体的に二八分)  
一九三七年(全体的に二七分)  
一九三六年(全体的に二六分)  
一九三五年(全体的に二五分)

債銀増額は、経済界の不況に因り、資本金の減少を示す。債銀算定支払は、以前に比べて減少を示す。解雇申請要求は、一部分にあると云ふが、これとて、昨年同期に比して減少を示す。債銀計算支払は、前年より増加を示す。資本金の不安、行方不明、労働者の防衛的立場を説明するものがある。本組合が前年の如き巨火費本

の環境下に直面する中小の種雑化学産業に深き関係を持つだけに、その影響は、一部分を除き他、昨年度に比して極々組合側の防衛的立場に於て顕著なものである。此の全全国的動向の傾向と同一である。次表はその發生理由を示すものである。

種雑化学産業	件数	前年度	比較
炭素	1	0	▲1
炭素	2	2	▲2
炭素	1	1	▲1
炭素	1	1	▲1
炭素	1	1	▲1
炭素	1	1	▲1
炭素	1	1	▲1
計	7	7	▲7

▲印は増、●印は減

	本年	前年	比較
参加総人員	715	807	▲92
一件平均人員	30	77	▲47
総日数	607	602	▲5
件数	7	7	▲0
平均日数	20	17	▲3

この中で最も顕著な比較的数字は、平均一件平均人員に於ける。組合の成立以前に於ける、組合の成立以後に於ける、平均一件平均人員は、最も顕著に減少した。これは工場閉鎖の著しく増加したことに因る。組合の成立以後、平均一件平均人員は、最も顕著に減少した。これは工場閉鎖の著しく増加したことに因る。